

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績 把握方法
1. 仕事をつくる					
①地域産業の活性化と働く場の創出					
(1)地域産業の活性化					
①既存企業の支援	1事業所あたり年間出荷額(千円)	461,436(平成25年)	489,820	基準値から年率1%で増加することを目標とする。	毎年の工業統計(又は経済センサス-活動調査)の「1事業所あたりの製造品出荷額」にて把握。
	各種セミナー参加者数(人)	-	(年間)40	商工会主催・町後援によるセミナーを、5年間で2回開催すると想定。1回に各20名の参加を目標。	セミナー参加者を実数により把握。
②就労環境の充実	町内居住新卒地元就職者数(人)	-	(年間)35	22歳人口221人×進学率49.9%×就職率96.5%×30%=32人を基準とする。	卒業後町内企業に就職する人数。企業フェスタなどの参加者のモニタリングにより捕捉。
(2)起業支援					
①新たな事業展開への支援	起業件数(件)	-	10	1年2件×5年=10件と想定。	町内にて起業した法人及び個人事業主数。商工会新規加入者や「創業支援事業計画」を利用して創業者を実数により把握。
(3)農業振興					
①魅力ある農業の実現	認定農業者数(人)	2(平成26年度)	3		対象者から申請書を提出してもらうことで情報を取得し、農業委員会の総会にて審議、認定する。
②農業経営基盤の強化・整備	遊休農地の面積(ha)	1.6(平成27年度)	0	平成25年度5.6ha、平成26年度6.2ha、平成27年度1.6ha。	農業委員会による「農地利用状況調査」にて情報を収集し、事務局側で確認後、遊休農地として判断する。
	農地の利用権設定件数(件)	38(平成26年度)	48		農地利用集積円滑化団体であるJA(農業協働組合)からの情報提供にて情報を把握する。
(4)女性の活躍促進					
①女性の就業推進	女性就業率(%)	58.2(平成22年)	60	平成22年国勢調査における、15歳～64歳の町内就業者数4,314人/女性人口7,413人=58.20%を基準とする。	5年毎の国勢調査にて、就業している女性の割合を把握。
	育児休業実施企業(社)	-	220	平成24年法人数542×40%(平成23年度厚労省調査における対象企業割合35.6%)を目標とする。	正社員で育児休業利用者がいる企業数。商工会会員事業所にアンケートを行い、把握。
②女性の起業推進	女性による起業件数(件)	-	5	1年1件×5年=5件と想定。	町内にて女性が起業した法人及び個人事業主数。町商工会が、創業・企業相談を行った者のモニタリングにより把握。
②魅力ある雇用環境の積極的なPR					
(1)情報発信					
①リクルート情報の発信	ホームページ(リクルート)アクセス数(回)	-	27,375	15回×365日×5年=27,375回を目標とする。	町ホームページの該当タイトルへのページ別訪問数により把握。
	説明会参加者数(人)	-	(年間)30	商工会主催・町後援による説明会を5年間で1回開催。30人の参加を目標とする。	説明会参加者の実数により把握。
	相談件数(件)	-	300	5件/月×12ヶ月×5年=300件を目標とする	町商工会が、企業から相談を受けた実数により把握
②企業誘致に向けた基盤整備	情報収集数(誘致候補地情報)(件)	-	5	1件/年×5年=5件を目標値とする。	誘致候補地に関するストック数により把握。

【笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略】KPI関連指標

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績 把握方法
2. 笠松に呼び込む					
①若者・子育て世代の移住定住の促進					
(1)若者・子育て世代の移住定住					
①移住・定住に係る情報の発信	情報発信事業による移住者数(人)	-	(年間)10	直近5年の平均転入者の約1%を想定。	以下の案に基づき把握予定。空き家バンクを使用して移住した人数又は転入者にアンケートを実施して把握。
②町内企業の魅力発信	インターンシップ実施企業数(社)	-	5	平成24年法人数542×1%=5社を想定。	町商工会より、インターンシップ実施状況等のアンケートを会員に送付してもらい把握。
③若者世代の職住近接の推進	三世代同居及び近居支援数(件)	-	10	2件/年として10件/5年を目標とする。	以下の案に基づき把握予定。転入者にアンケートを実施して把握又は町外から移住してきた子育て世代への引越やリフォームに係る費用の補助が今後出来れば、その補助件数。
④若者の定住の推進	定住促進事業活用による町外者の転入世帯数(世帯)	59(平成26年度)	(年間)60	基準値を目標値とする。過去実績は、平成22年度24世帯、平成23年度51世帯、平成24年度43世帯、平成25年度35世帯。	新築住宅の家屋調査時に実施しているアンケートにより把握している(別紙参照)。
(2)都市基盤の整備					
①秩序ある宅地整備の促進	宅地面積(ha)	287(平成27年度)	293		税務課が資産税の賦課等で利用する「概要調査報告書」の宅地評価総地籍で把握(年度で1回)。税務課発行の「町税の概要」が行政情報資料コーナーにある。
②都市機能の強化	未利用地有効活用数(件)	-	3	5年累計3件を目標とする。	土地開発公社が所有している土地が売却等された場合、カウントを行う予定。
②魅力創出等を通じた交流人口の増加					
(1)交通基盤の整備・利便性の向上					
①快適な生活道路の整備	車歩道分離整備延長(m)	11,850(平成26年度)	(累計)13,200	平成24年度10,530m→平成26年度11,850mを直線延長。羽島用水上部利用計画1,350mを反映。	整備実績により把握。
	羽島用水上部利用整備延長(m)	870(平成26年度)	(累計)2,340	平成27年度に120m、平成28年度以降1,350mの計画を反映。	整備実績により把握。
②地域を結ぶ地域公共交通サービスの拡充	巡回町民バス利用者数(人)	74,082(平成26年度)	(年間)80,000	第5次総合計画により設定された目標値。平成21年度は76,501人。	「バス乗降状況報告書」により確認(現金+回数券+利用者証)。
(2)交流イベントの開催					
①観光・交流を促進する基盤の整備	歴史未来館来館者数(人)	7,192(平成25年度)	(年間)8,600	平成25年度比20%増加。	正面玄関横の事務所で実数をカウント。
	支援アプリダウンロード数(件)	-	5,000	平成27年度事業計画案を目標としたが、事業を実施せず。	ダウンロード数を実数で把握。
②町の観光資源を活かした魅力づくり	広域連携による観光事業数(事業)	1(なし)	2	現在、白川町と連携。更に1地方公共団体と連携することを目標。	事業実施件数により把握。
③観光・交流イベントの活性化	新規イベント創出数(件)	-	5	1件/年として5件/5年を目標	イベント実施件数により把握。

【笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略】KPI関連指標

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績 把握方法
3. ひとを育む					
①安心して産み育てることができる環境整備					
(1)子育て支援の推進					
①子どもや母親の健康の確保、増進	特定不妊治療費助成件数(件)	55(平成26年度)	275	平成26年度55件の水準を、施策の周知により維持する。平成23年度41件、平成24年度42件、平成25年度38件、平成26年度55件(平均44)。	助成件数により把握。
	新生児聴覚検査費用助成件数(件)	182(平成26年度)	985	平成21～25年の平均出生数219人/年の90%である197人/年の助成を目標とする。	助成件数により把握。
②保育・子育て支援サービスの拡充	放課後児童クラブ利用児童数(人)	142(平成26年度)	(年間)215	開設場所4箇所合計の定員数。	開設場所4箇所(笠松1、松枝2、下羽栗1)での、(夏休みなどの休暇期間でない)通常月利用児童数の合計(学校基本調査の基準日:5月1日現在の利用者数で把握)。
	はしま広域ファミリー・サポート・センター会員数(人)	73(平成26年度)	120	年約10人増とし、5年後累計120人を目標とする。実績は、平成24年度52人、平成25年度60人、平成26年度73人(累計)。	会員数により把握。
③地域における子育て支援の推進	子育て支援講座参加者数(人)	1,194(平成26年度)	(年間)1,400	第5次総合計画により設定された目標値。平成21年度は1,024人。	講座参加者を実数により把握。
④「生きる力」の育成	ホームステイ参加者数(人)	-	20	5件/年として20件/4年を目標。	未実施ではあるが、ホームステイの助成件数により把握予定。
	【グアム】生徒の満足度(アンケート)(%)	93(平成26年度)	100		派遣後のアンケート調査により把握。様式は別紙参照。
	英検合格者数(人)	-	(年間)210	笠松中学校生徒701人(平成27年8月時点)の50%が受験(5級～準2級を想定)し、その60%が合格することを目標とする(英検3級自体の合格率は約50%)。	英語検定料助成金の交付手続きにより把握。
⑤特色ある環境づくり	町民の国体出場者数(人)	13(平成26年度)	(年間)15	平成25年度11人、平成24年度34人(ぎふ清流国体)、平成23年度9人より設定。	岐阜県体育協会に照会して把握。
	【英語教育】子育て家庭の満足度(アンケート)(%)	-	70		アンケート調査により把握。様式は別紙参照。
⑥子育て家庭の防災対策強化	【子育て家庭防災】園児・児童・生徒の満足度(アンケート)(%)	-	70		親子向け防災授業の満足度を、担任の先生に聞き取って記入(アンケートは行っていない)。

【笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略】KPI関連指標

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績 把握方法
4. 安心なくらしをつくる					
①すべての世代が安心して暮らせる社会の実現					
(1)高齢者福祉の推進					
①高齢者の生きがいづくり	ふれあいサロン・ふれあい喫茶設置数(箇所)	11(平成26年度)	16	1箇所/年を目標とする。	設置数により把握。平成28年11月に行った「きたきたサロン」等により増加する余地はある。
	シルバー人材センター新規入会者数(人)	-	30	6人/年として、5年間で30人。	登録者数の実績により把握。
②高齢者の生活を支える支援体制の整備	認知症サポーター養成講座受講者(人)	707(平成26年度)	1,200	第5次総合計画の中間年見直しと同数。	受講者の実数により把握。
③地域福祉活動の担い手の育成	ボランティア、学習活動等の参加人数(人)	846(平成26年度)	4,250	基準値+αの850人を5年間継続。	ボランティアセンターの運営、講座・研修会等への参加、育成事業への参加者の実数により把握。
④見守りと支え合いの地域づくり	防災訓練参加人数(人)	4,200(平成26年度)	(年間)7,000	第5次総合計画の平成32年度目標=参加率35%から換算。	実人数により把握。実人数は、町内会長からの報告書に基づく。
(2)コミュニティ活動の充実					
①コミュニティ活動の活性化	防災士資格取得者数(人)	11(平成26年度)	45	中津市、高知県香美市KPI≒人口の約0.2%を参考。	当初は実人数。現在は、補助金交付数により把握。補助金は、取得経費6万円のうち半額(ただし、3万円が上限)。
②住民によるまちづくり活動への支援	普通救命講習受講者数(人)	565(平成26年度)	(年間)600	第5次総合計画により設定された目標値。	講習受講者の実数により把握。
	協働型町民活動促進事業補助団体数(団体)	27(平成26年度)	(年間)32	平成26年度比2割増。	補助団体数により把握。
(3)健康づくりの推進					
①健康づくりに取り組む環境の整備	健康相談の回数、参加者数(回/人)	69/473(平成26年度)	(年間)80/850	第5次総合計画の中間年見直しと同数。	開催回数・参加者数(実数)により把握。
	健康教育の回数、参加者数(回/人)	27/1,826(平成26年度)	(年間)35/2,300	第5次総合計画の中間年見直しと同数。	開催回数・参加者数(実数)により把握。
	特定健診、がん検診受診率(%)	34.3/30.8(平成26年度)	(年間)45.0/36.0	第5次総合計画の中間年見直しと同数。	・特定健診:実績により把握(分母は40~74歳の国民健康保険加入者) ・がん検診:実績により把握(分母は、人口×(1-受けない割合)となる。受けない割合は、全国的な調査調査により算出。
②生涯を通じた健康づくり	児童生活習慣病血液検査受診率(%)	96.2(平成26年度)	100(小学5年生)		実績により把握(分母は、各小学校の5年生の和)。
	【学校給食】児童の満足度(アンケート)(%)	-	70		栄養摂取状況調査表により把握(別紙参照)。「満足度=給食の全量摂取」の考えで算出。今後、毎年行う。
②誰もが生きがいを持って支え合えることができる社会の実現					
(1)生涯学習・社会貢献機会の充実					
①生涯学習に取り組める環境づくり	公民館利用者数(人)	84,091(平成26年度)	(年間)92,000	第5次総合計画の平成32年度目標。	申請数により把握。
	主な体育施設利用者数(人)	96,570(平成26年度)	(年間)128,000		申請数により把握。
②生涯学習講座受講者数(人)	生涯学習講座受講者数(人)	361(平成26年度)	(年間)450	第5次総合計画の中間年見直しと同数。	講座受講者の実数により把握。
③地域間・都市間で有機的に繋がる社会の実現					
(1)地域資源の連携による回遊性の向上					
①サイクリングロードの整備促進	レンタサイクル利用者数(人)	-	(年間)350	平成17年に岐阜市にて導入当初の利用者1,663人・平成18年5,597人の6%(人口比)。	使用前に記入する「申請申込書」により把握。
②広域的な連携による観光資源のネットワーク	FreeSpotアクセス件数(件)	-	(年間)40,000	河川環境楽園来訪者(平成25年4,141,275人)の1%を呼び込み。	期間を定めたアンケート調査を行って、推計する予定。
(2)地域間連携による共通課題への対応					
①環境にやさしいまちづくり	木曾川クリーン作戦参加人数、団体数(人)	243(平成26年度)	(年間)300	基準値より2割増。	参加者への配布物数より把握。

**【笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略】KPI関連指標**

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績 把握方法
②大規模災害対策の推進	災害時応援協定数(件)	26(平成26年度)	30	増加。	協定締結数により把握。
	Wi-Fiスポット数(箇所)	-	36	町内全指定避難所に設置。	設置箇所数により把握。
③広域連携の推進	広域連携事業数(件)	53(平成26年度)	58	年1件増加。	実績報告等で把握。